

平成 15 年度 外務省委託スキーム別評価「国際緊急援助隊評価」  
JICA ベトナム事務所に対する質問票

わが国の国際貢献の主要な柱の一つである ODA は、金額面では世界トップクラスの規模を誇る一方、近年ではより質の高い、効果的・効率的な援助の実施を求める声が国内外でも高まっております。これらの声に応えるべく、外務省でも ODA の評価に力を入れており、この度、「国際緊急援助隊」派遣制度を対象にプログラムレベル評価（スキーム別評価）を行うこととなりました。この評価の目的は、第一に「国際緊急援助隊」について総合的かつ包括的に評価し、今後のより効果的な実施の参考とするための教訓・提言を得ること、第二に評価結果を公表し説明責任を果たすことです。

この評価の一環として、外務省調査チームは本年 3 月 16 日から 4 月 1 日にかけて実施されました「ベトナム SARS 感染に関する国際緊急援助隊（専門家チーム）」派遣をケーススタディとして取り上げ、12 月 15 日～19 日の日程でベトナムでの現地調査を行い、情報収集を行う予定です。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮でございますが、以下の質問へのご回答にご協力いただきたく、よろしくお願い申し上げます。複数ご担当者や従事された方がいらっしゃる場合は、用紙をコピーの上、それぞれ別個にご記入下さいますようお願いいたします。まことに勝手ながら、ご記入いただきました質問票については、調査訪問時に回収させていただきます。よろしくお願い申し上げます。

回答者

氏名：

役職：

国際緊急援助隊 受入れに当たり果たした役割：

在任期間：            年    月    日    ~    現在

Q1. 本件評価調査団は、既存のマニュアルや関係者へのヒアリングを通じて、「国際緊急援助隊」の派遣に備えるための通常時及び派遣時における体制を整理し、貴機構現地事務所においては以下の通り実施すると理解しております。ついては、通常時及び実際の派遣時(SARS 集団発生に対する国際緊急援助隊専門家チーム派遣)における貴事務所の実施状況について、教えてください。

(1)通常時

以下の各項目についての実施状況について、A～D(A:明確に行っている、B:行っている、C:あまり行っていない、D:全く行っていない)から選択し、チェックをお願いします。さらにC及びDを選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				
		A	B	C	D	備考
在 J-1	担当者を決めておく					
在 J-2	任国担当者と平時からのネットワーク構築					

(2)派遣時(一般)

以下の各項目についての実施状況について、A～D(A:順調に行った、B:行った、C:行ったが十分とはいえなかった、D:全く行わなかった。)から選択し、チェックをお願いします。さらにC及びDを選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				
		A	B	C	D	備考
在J-1	JDR事務局への第一報					
在J-2	担当者を決め、実施体制を確立(情報収集)(Web siteで入手できる一般的な情報ではなく、以下のような被災現場のより詳細な情報)についての提供が求められる。) <ul style="list-style-type: none"> <li>①被害状況(アクセス、電気、水道、通信、家屋)</li> <li>②治安(家事場強盗、反政府勢力)、2次災害の危険性</li> <li>③救助ニーズ(建築物の材質、構造)</li> <li>④医療ニーズ(重症外科患者、感染症の流行、宗教上の理由で女医の必要性)</li> <li>⑤専門家ニーズ、物資供与ニーズ</li> <li>⑥任国政府の対応(災害対策本部、対応能力、国際アピール)</li> <li>⑦諸外国、国際機関の援助実施状況</li> </ul>					
在J-3	発災から援助実施決定までの在外公館事務の側面支援(被災状況情報収集、ニーズ調査、ニーズと我が国緊急援助ツールとのマッチング、治安情報収集、任国政府の対応状況把握、他支援機関の援助実施状況把握など)					
在 J-4	自発的に協力の申し出があった被災国派遣中のJOCV隊員について、任国配属先の承認を取り付ける。					

在 J-5	JDR チーム受入のための事前準備 ①宿泊先の確保(医療チームは原則ホテル、救助チームはバスで仮眠、後にホテル) ②移動手段の確保(バス、トラック、4WD) ③物資購入(食糧、水、ガソリン、オイル、マラリア治療薬など) ④通訳の手配 ⑤通信手段の確保(携帯電話貸与)(チームはインマルサット、無線機を本邦から携行) ⑥治安面で不安がある場合は、在外公館とも協議のうえ警備を依頼(軍・警察) ⑦活動サイトの選定(LEMA,OSOCC と協議、活動サイト候補地の下見)					
-------	---	--	--	--	--	--

### (3)派遣時(現地)、専門家派遣

以下の各項目についての実施状況について、A～D(A:順調に行った、B:行った、C:行ったが十分とはいえなかった、D:全く行わなかった。)から選択し、チェックをお願いします。さらに C 及び D を選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				
		A	B	C	D	備考
在 J-6	JDR チーム到着時 ①携行機材の通関・輸送(100 から 200 個と大量) ②被災国情報ブリーフィング(最新被害情報、被災国・他援助国の活動状況、安全・衛生状況、便宜供与事項、一般的な現地事情(宗教、タブー、国民性)、活動サイト選定の助言)					
在 J-7	JDR チーム活動中 ① 物資を調達しチームへ補充 ②(首都のドナー会合への出席、得られた情報をチームへ提供) ③安全情報(治安の悪化、2次災害)の提供 ④広報(チームからのデジカメ画像を活用。在外公館と連携しつつ実施)(日本及び被災地向け) ⑤携行機材の譲渡:医療班が携行した資機材は調査用資機材扱いとなって、問題のない範囲で先方へ譲渡する ⑥帰国準備:帰国便のリコンファーム、機材の通関手続きなど					
在 J-8	チーム携行機材供与式アレンジ・実施の側面支援・参加					
在 J-9	援助隊活動中に大使館が行うマスコミ対応を側面支援					
在 J-10	チーム携行機材供与後のモニタリング調査実施					
在 J-11	援助隊活動終了後の評価調査(ミッションレビュー2)の実施					
在 J-12	プレス発表(在外公館と調整)					
在 J-13	報道振り/任国政府からの感謝/被災民の声などの広報素材の収集・報告					
—	(随時、広報活動を行う)					

Q2. 「国際緊急援助隊」の活動の、被災国における認識度合いについて調査しております。現地調査の際に、次の情報をご提供いただきたくお願い申し上げます。

1. ベトナムにおいて JDR についての広報された新聞記事コピー、テレビ放映の概要。(外務省本省もしくは貴機構本部に報告しているものを除く。)

および

- ベトナム国におけるテレビ保有台数(1,000 人当たり)、
- 各主要新聞の販売部数

2. 国際的メディアに取り上げられた JDR の記事、概要。(外務省本省もしくは貴機構本部に報告しているものを除く。)

Q3. その他本スキームに関してご意見があれば、教えていただきたく存じます。

以上